

県立歴史館事業

文化財・生涯学習課

1 歴史館の使命

長野県立歴史館は、長野県に関する歴史遺産の収集・整理・保存・調査研究を通じて、それらを未来に引き継ぐ活動を市町村と連携して行い、県民が歴史を振り返り、将来を展望する場、楽しみ・憩い・交流する場を提供するとともに、地域に貢献する県内博物館・文書館の中核として、歴史教育の拠点を目指す。

2 歴史館の基本目標

- ・長野県民の歴史遺産を未来に継承するための取り組みを進める
- ・未来を映す歴史知識の泉、歴史学習の拠点としての役割を果たす
- ・楽しむ場・憩いの場・交流の場としての役割を果たす
- ・県内全域での活動を推進し、地域に貢献する活動を進める
- ・内博物館・文書館等の中核、歴史情報の拠点としての役割を充実させる

3 事業内容

歴史遺産の継承	県ゆかりの歴史的資料の積極的な収集	300万円
	県ゆかりの現代資料の調査・収集等 ・国機関等所蔵の県関係資料の収集 ・県外流出文書の収集 ・県関係資料の所在確認調査	248万1千円
	特定歴史公文書の整理・保管及び活用	2,220万9千円
	老朽化した走査型電子顕微鏡の更新	1,734万7千円
歴史学習の拠点	常設展示の見直し検討	—
	企画展の充実 「信濃の修験（仮）」 「諏訪と武田氏（仮）」 「高遠藩の遺産（仮）」	2,217万6千円
楽しむ場等	子どもを対象とした展示施設の検討	—
地域貢献	中南信地域の小中学校への「お出かけ歴史館」の開催	57万9千円
歴史情報の拠点	県内外博物館との連携	—
その他	老朽化した施設・設備の更新	2,163万2千円
	歴史館管理運営費等	1億6,886万1千円
計		2億5,828万5千円

4 令和4年度予算額 2億5,828万5千円